

事務所通信 パクチー

2023 年 4 月号

税理士法人 PLUS 1

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル 5 階

電話：06-6264-6135 F A X：06-6264-6136



やる気が出ないときは「ズーニンの法則」がおすすめです。アメリカの心理学者レナード・ズーニンが脳の特性を利用した法則で「最初の4分間だけ頑張れば、あとはうまくいく」というものです。まずは簡単にできる作業から始めて4分間頑張り、徐々に難易度を上げていくのがやる気を出すコツだとか。とりあえず4分間。

知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【決算が近づいてからでもできる節税対策】

「今期は利益が出そうなので、決算直前でもできる節税対策はないでしょうか」という相談を受けました。このような場合の節税対策のひとつに「短期前払費用の特例」という制度があります。通常では費用の支払いをしても、サービスの提供を受けていない来期分の「前払費用」については、当期の経費に算入することができません。しかし一定の条件を満たせば当期の経費とすることができます。その条件とは「契約によって継続的にサービス提供を受けるために支出したものである」「支払日から1年以内にサービス提供を受けるものである」「支払った金額を継続してその事業年度の経費にしている」です。例えば、決算月などに1年間分の事務所家賃を前払いする契約に変更し、その1年分の家賃を支払えば経費として算入することができます。なお支払利息のように、収益と対応させる必要があるものについては認められません。また期間限定の広告代など継続的でない場合も特例が適用されないことがあるので注意が必要です。



事務所メンバーの『休日の過ごし方』について

山地：できるだけ、家族との時間を過ごせるよう出かけることを意識しています。が、いかにせん計画を立てるのが苦手で、結局お決まりのイオンモールが定番。そこで娘が嬉しそうにガチャガチャを回すのがちょっとした幸せです。そういえば、以前イオンモールで Scorpions の wind of change が良く流れていました。今の時代に必要な曲だと思います。

中瀬：休日にどこに行きたいと聞いて返ってくるのはいつもイオンモールかエキスポシティ。そして必ず立ち寄るのはゲームセンター。とにかく私以上に妻と娘がクレンゲームが大好きです。娘の今のブームはプリキュアとポケモンと転スラ。おかげでぬいぐるみとフィギュアがリビングを占領しています。

川上：だいたい出かけていて家にいません。勉強するために学校へ行くのがほとんどですが、結構いろんなところへ出かけています。つい先日も友人に会いに東京日帰り行ってきました。この春は広島から福岡へ行ってきます。コロナ禍で我慢していた反動がでています。宿がめちゃくちゃ高くなっているのが悩みです。

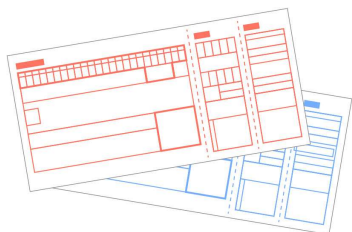
佐藤：友人とお酒を飲みに行くことが多いですが、予定がない日もほとんど外出しています。午前中はジムで運動し、昼食をはさんでから、午後は昔ながらの銭湯で汗を流すといった過ごし方が多いです！充実した休日となるよう、できるだけ午前中から行動したいのですが、たまにお昼過ぎまで寝てしまうこともあります(笑)

百武：ダントツで家事が多いですね。あと、息子がサッカーチームの活動で不在時はここぞとばかりに家でゴロゴロ寝て過ごしてます。マンガ読んだり音楽聴いたりトランプゲームしたりインドア派。一人だと何か用事が無いと外出しないかも。なので、息子がいる時はその場の思い付きでどこかへ出掛けるようにしています。

今月の いろいろ 「掲示板」

QRコードを活用した新たな納付サービス

令和5年4月1日から新たな納付サービス「地方税お支払サイト」が運用開始されます。固定資産税・個人住民税（普通徴収）・個人事業税など、地方税関係の納付書に印字されたQRコードをスマホやPCのカメラより読み取ることで、クレジットカードやスマホアプリ決済から納税が可能となりました。これまで納付書を金融機関やコンビニまで持ち込みしていた手間が今後は不要になり便利に納税できるようになりました。また、複数枚の納付書でもQRコードを続けて読み取ることで、まとめて1回で支払いが可能です。納付書がご自宅へ届いた際、一度お試しで利用してみたいかがでしょうか。



振り向けばあそこにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【禅から学ぶ商売の心持ち】

姥捨山（うばすてやま）の物語をご存じでしょうか。ある男が口減らしのために年老いた母を山に捨てに行きます。母を背負って山道を歩いていると、ときどき背中で枝を折る音がします。「さては母が、捨てられたあとに一人で山を降りるための目印を作っているな」。男はそう思いましたが、知らん顔でようやく山奥にたどりつき、母に別れを告げました。すると母は息子に言うのです。「山を登ってくるとき、お前が帰り道を間違えないように枝を折って目印をつけておいたよ。それを頼りに気をつけて里へ帰りなさい」。自分が捨てられようとしているのに、なおわが子のために道しるべを残そうとする親切心。自分のことは一切考えず、ただ相手を思いやる心。禅の世界ではこれを「老婆心」といいます。現代では「おせっかい」や「余計なお世話」と似た解釈をされがちですが、本来の「老婆心」は「利他心」に通じる心持ちなのでしょう。昔のお年寄り、見送った人の背中にいつまでも手を合わせて感謝していました。困っているように見える人には「どうしましたか？」と自然に声をかけ、ついでだからと近所の草むしりもして、泣いている子の頭を優しくなでながら「いい子だ、いい子だ」と話を聞いてあげたものです。今のような混沌（こんとん）と複雑化していく世の中では、本来の老婆心が人間関係を豊かにして、仕事や生活の潤いになるように思います。親が子を思うように、また祖父母が孫を思うように心を尽くし、ただ相手を思いやり、仕事に当たる。そう簡単にできることではありませんが「人によかれ」の心で商売することは忘れないようにしたいものです。



李です。去る3/17金曜に弁護士法人オルビスの声掛けで、3事務所合同会食をしました。オルビス、姜司法書士、朴会計士が同じフロアでワンストップサービスを始めたのが今からちょうど20年前の3月です。20年、あっという間の様に思います。仲違いせずによくやって来られたのも、つかず離れずのいい関係を維持して来たからだと思います。乾杯の挨拶は朴会計士、締めの挨拶は姜司法書士。表薫弁護士はお支払い担当。何を食べたか？ちゃんこ鍋です。表先生は昔からここだけの話、名高い「鍋奉行」で、同席したら何もせずともそれぞれの取り皿に入れてくれるから後は黙って食べるだけ。もちろん今回、私はそれにあやかろうと表薫先生の真正面の席に座りました。他所の従業員には冷たいようで、今回は取り皿にとってくれず期待外れのセルフでした、残念💧久しぶりの会食で盛り上がり2次会、3次会と…。その時、私は夢の中（笑）